

～コミュニティ・スクールだより No.5～

氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局

1年生保護者同士の交流にCS委員も一緒に子育て談笑（竜北東小学校 6月27日）



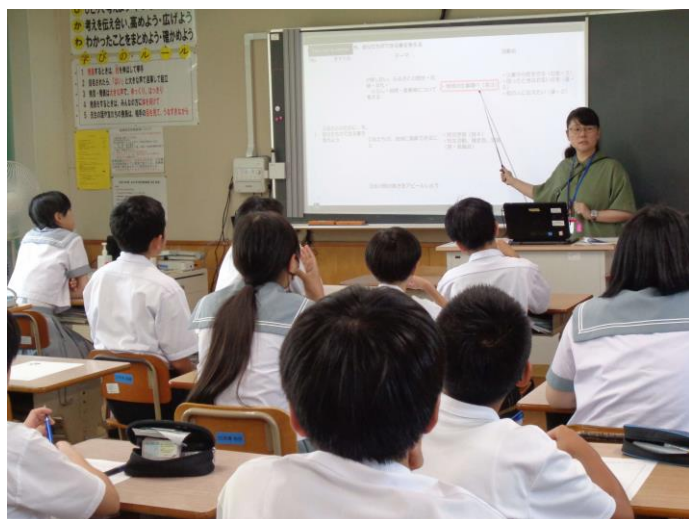
6月27日、竜北東小学校の授業参観の前に1年生保護者とCS委員が「親の学びプログラム」を使い交流しました。「夏休みに起こりそうな子どものトラブルに対して、あなたならどうする？」というテーマでグループごとに意見交換し、子育てについて楽しく話し合いました。初めての長い夏休みの過ごし方や保護者同士での共通理解など短時間ではありましたが、「他の人の意見も聞けてためになりました」とこの機会を喜ばれていました。今後、子どもたち同様、保護者同士も6年間ともに過ごし、わが子だけでなくみんなの成長を多くの大人で応援していければと思っています。

地域の方の善意で、通学路がきれいに、見通し良く！



宮原小学校の第2回CS会議で道端の草が生い茂り通学路を覆い、通行の妨げになっているという話題が出た早々、暑い中、黙々と清掃されているCS委員の姿がありました。また、地域のゴミを拾いながら歩かれる方、通学路の街路樹の葉が落ちるたびに、きれいに掃除されている方など、人のために時間も労力も惜しまず汗を流されている方々の姿に頭が下がります。地域の方々のおかげで、子どもたちの安全が支えられていることに心から感謝しています。

氷川中学校1年生「CSの日」に向け「氷川学」を学ぶ（氷川中学校1年生 6月30日）



今年度から氷川中学校区拡大CSでも、「CSの日」に中学1年生が氷川の宝について学び、小学生に伝える活動を行うことにしました。昨年度の振り返りで、中学生が地域の行事などに参加はするものの、氷川のことについてあまり知らないという意見から、今年度改めて氷川の魅力について掘り下げ、学びを発信します。

まず、「氷川学」のことについて山村地域学校協働活動推進員から説明を受け、今後学びながら氷川の宝をしっかりと見つけ伝えられるようCS委員とともにチームで取り組んでいきます。